

「まちの力」を育てる交流をめざして

石川県小松市観光文化部空港・地域交流課国際交流担当

小松市の姉妹都市交流

総人口約11万人の小松市では姉妹都市と友好交流都市あわせて7都市との交流が進められています。

このうち今回姉妹都市提携20周年を迎えた英国ゲイツヘッド市とは、コマツ（株式会社小松製作所）の英国工場がゲイツヘッド市に建設されたことをきっかけに、1991年（平成3年）に姉妹都市提携を結びました。そしてこの20年間、両市の交流の大きな柱となってきたのは、青少年訪問団の相互訪問事業、小松・ゲイツヘッド友好の翼交流事業でした。

20年間の交流でこの青少年交流事業への参加者は両市を合わせて300名にのぼります。20年間に相互訪問はパートナー制へと移行し、事前研修にも工夫を重ね、小松市の国際交流の担い手を育てるべく改善を重ねてきました。そして毎年の青少年交流に加えて芸術家交流事業や市代表訪問団派遣等の実施も通じて、少しずつゲイツヘッド市と小松市の姉妹都市交流は育ってまいりました。

今回の20周年記念事業はこうして続いてきた交流についてもう一度振り返り、交流のあゆみを確認すると同時に、更に交流のすそ野を市民全体に広げる機会にしたいという思いで実施しました。できるだけ開かれた交流を、できるだけわかりやすい内容で実施したいというのが願いでした。代表訪問団派遣等だけではこの目的は到底達成できません。両市民がお互いの文化に触れ、学べる交流を計画するため、今回クレアの助成金を活用させていただきました。

小松・ゲイツヘッド姉妹都市提携20周年記念事業 7月交流事業

事業の開始は7月末からの代表訪問団派遣でした。7月中旬からは恒例の小松・ゲイツヘッド友好の翼青少年訪問団がすでにゲイツヘッド市滞在を開始しており、ホームステイを軸とした交流事業が展開されていました。また、クレアの助成金を活用することでこの代表訪問団と青少年訪問団の派遣に合わせて文化交流使節団と九谷焼交流使節団を派遣することが出来ました。この文化交流使節団と九谷焼交流使節団の同時派遣は、今回の事業の中で本当に大きな役割を担っていたと感じています。

九谷焼交流使節団はゲイツヘッド市の古い教会、セントメリーズ教会を会場として展示会を開催し、小松市を代表する作陶家の皆様からお借りした24点の作品を展示、訪問日程の1日を利用して解説ツアーを開催しました。展示するだけでなく、小松市を代表する作陶家による解説を聞くことで、小松市と小松市の文化への理解をゲイツヘッド市民に深めてもらえるだけでなく、フェイス・トゥー・フェイス、人と人とのつながりも生みだせる交流とすることが出来ました。

また、今回の姉妹都市提携20周年を記念して寄贈される日本庭園の修繕をその訪問の主目的とした文化交流使節団においては、



庭園の修復を 両市の友好のシンボル「小松・友好の庭」



実物でしか感じられない迫力

済ませ、日本庭園オープニングの準備を整えた後、小松市の一町内よりお借りした獅子頭を使っての獅子舞の披露を行いました。

ビデオや写真で日本文化を知るのとは全く異なり、生の太鼓や笛の拍子に合わせて力強く舞う獅子が、ゲイツヘッド市民の大きな感動を誘ったことは、上演予定が2回であったにもかかわらず、様々な場所において計5回にわたって獅子舞を披露することになったことからよくわかります。

こうした小松市の誇れる文化を、小松市の青少年訪問団の渡航に合わせて実施できたことは、故郷に誇りを持って世界に出ていける人材を育てるという意味でも、クレアの助成金の非常に有効な活用例となったのではないかと感じています。

小松・ゲイツヘッド姉妹都市提携 20周年記念事業 9月交流事業

そして9月の受け入れ事業。ゲイツヘッド市からはケイリイ音楽訪問団と食文化を伝える調理師訪問団が小松市を訪問し、記念イベント「ゲイツヘッド★デイ」を開催しました。

調理師訪問団は調理師3名による構成で、「ゲイツヘッド★デイ」の内、「エンジョイ★ティータイム」という、イギリスのアフタヌーンティーを紹介するイベントでの文化紹介を目的としました。訪問日程中多くの時間を材料調達や菓子の試作に費やすなど、苦労は多かったのですが、当日一般市民から限定40名で募った参加者は、その素晴らしい雰囲気と美味しいお菓子、そして紅茶、更にアフタヌーンティーというイギリスの文化についての講義を聞きながら、本当にリラックスできる、優雅な時間を過ごせたようでした。

ケイリイ音楽訪問団員2名は、小松市立高等学校が有する芸術コースの生徒たちと半日をかけてワークショップを実施し、その成果を夜に開催された「エンジョイ★ミュージック」のステージにて

披露しました。もともとケイリイダンスという民俗ダンスの音楽でもあり、最後は観客の方も一緒に輪になって踊るシーンも見られ、感動のフィナーレとなりました。



エンジョイ★ミュージック「エンジョイ★ゲイツヘッドより」

未来へつながる姉妹都市交流

今回の記念事業を通じて感じたのは、過去の交流が歴史となって現在に続き、更に未来へとつながっていくということでした。

これまでの芸術家交流があったからこそ、今回の九谷焼文化訪問団の成功がありました。これまでの数々の訪問団が持ち帰ったゲイツヘッド市の情報があったからこそ、今回のゲイツヘッド市の紹介事業が計画できました。これまでの青少年交流があったから、この充実した交流につながってきました。そして今回の事業はまた一つの歴史となり、未来の交流の礎となるのでしょうか。

今回の事業の実施期間中、多くの人との出会いがありました。ゲイツヘッド市に青少年訪問団として訪問した経験がある人、今回のイベントで初めてゲイツヘッド市を知った人。すでにゲイツヘッド市との交流経験がある人は、思い出を引き出すように交流を楽しみ、発展させることが出来ます。新しく交流を始める人は、すべてが目新しく、刺激のある交流を展開できます。すべての人がそれぞれにゲイツヘッド市との友好を持ち、大きな交流という流れを作り出していくのだと思います。そして、この交流が様々な国や文化を理解することにつながり、世界平和につながる草の根の活動となることはもちろん、様々な人々が住む地域の相互理解にもつながり、その「まちの力」となっていくのだと思います。この「まちの力」を作り出す国際交流事業を展開するために、今後ともクレアの支援を最大限に活用させていただきたいと思います。